

第9回議会運営委員会会議録

- 1 開会日時 令和元年6月14日（金）午前11時0分
- 2 閉会日時 令和元年6月14日（金）午前11時10分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
4番 佐々木雄司君 5番 光成 良充君 6番 保田 守君
12番 北川 勝義君 13番 福木 京子君 15番 岡崎 達義君
16番 下山 哲司君
18番 金谷 文則議長
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者
な し
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 元宗 昭二君 主 幹 黒田 未来君
- 8 協議事項 1) 岡山県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙について
2) その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前11時0分 開会

○委員長（下山哲司君） それでは、お疲れさまでございました。

ただいまから第9回議会運営委員会を開会いたします。

協議事項1番目、岡山県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙について、議会事務局長から説明をお願いいたします。

局長。

○議会事務局長（元宗昭二君） それでは、説明を申し上げたいと思います。

2枚目の資料をごらんいただきたいと思うんですけれども、岡山県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙の候補者について、一覧表を添付してございます。

この広域連合議会議員の区分には、市議会議員の区分というものがございまして、定員は5人ですが、その市議会議員3人欠員による補欠選挙を行うということでございまして、選挙すべき3人に対して立候補者が4人となっております。この選挙は、岡山県後期高齢者医療広域連合規約第8条第4項の規定によりまして、岡山県内の全ての市議会の選挙における得票総数により当選人を決定することになります。したがって、赤磐市議会会議規則第32条の規定に基づく選挙結果の報告のうち、当選人の報告及び当選人への告知というのにはできません。県内全ての市議会の選挙ということですので、赤磐市だけで決まるということではございませんが、選挙結果の報告につきましては、有効投票のうち候補者の得票数までを広域連合へ報告するということとなります。

資料の日程表（案）、こちらのとおり、6月27日木曜日、本会議最終日、追加日程で選挙を行いたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

以上です。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

説明が終わりました。

ただいまの説明について委員さんから質疑はございませんか。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 別にええんですけど、補欠選挙で3人の欠員でやるというんじゃけど、これこんなこと言うたら選挙になるんじゃからどねえしようもねえことじゃけど、前の参考でというたら、どどこが欠員になったんですかね。

○議会事務局長（元宗昭二君） それにつきましては、今回岡山市議会が2名、それから玉野市が1名ということの3名になります。宮武議員、それから羽場議員、山本議員の3名です。こちらが任期満了ということですよ。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 僕はそういうこと聞きよんじやのうて、津山から出とる美見さんじゃ

のうて、前は誰じゃったかな、あの女の人。

○委員長（下山哲司君） 黒見節子さん。

○委員（北川勝義君） 黒見さんか。あの人が出よって、僕が言いたかったのは、吉井から1人、赤坂から1人、山陽から2名とか、熊山、こういう割り当てがあつたんじゃないかねえか、その割り当てがおかしいのかというのを聞いたりしただけなんです。わかるかな。

○委員長（下山哲司君） わかれれば説明お願いします。

事務局長。

○議会事務局長（元宗昭二君） 濟いません、具体にはちょっと今すぐにはわからないんで、どうさせてもらいましょうか。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） すぐわからにゃええんじゃけど。

いや、僕が何でこんなことを言うとするというたら、届け順でええんじゃけど、津山市の中からまた出とる、津山圏域のほう何か出とる人がおるんかな、おらんでしょう、これ今1人でしよう。例えば4人が3人になったら、1人が落ちるということになったら、別に美見さんが落ちるとい話をしょんじゃねえんじゃけど、割り振りで分けとんじゃけえ、やっぱり、選挙になったのをああじゃこうじゃ言うたらおえんけど、ちょっとよう考えるべきじゃったわな。そうせなんだら、例えば赤磐市の農業委員でも吉井からは農業委員はゼロ人じゃと、山陽から10人出ましたというようなことが起きたら大変なことになるんじゃないかねえかなと思うたんで。

せめて僕個人的な見解で言やあ、ちょっと岡山市の議長が後じゃんけんで出とんやこう、こんなことされたら、議長というのはまとめにゃおえん人がそういうなん、ちょっといかなもんかなと思うて。もう今さら言うても、どねえしようもできんことじゃけど、ちょっと。それ以上のことは言いませんけど、ちょっと今これをやられたら、もう地域性がのうなっていくんじゃないかねえかな。地域性というたら言い方悪いけど、今ちょっとそういうことを思いましたんで。これよろしいです。

○委員長（下山哲司君） はい。

局長、全協までに、もしわかるんなら確認をして、議長の説明の中に入れていただくと。

そういうことでよろしいですか。

○委員（北川勝義君） よろしい。

○委員長（下山哲司君） はい。じゃあ、そういうことで。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、続いて協議事項2番目、その他について。

議長、お願いいたします。

○議長（金谷文則君） それでは、実は毎年というか、去年もやりました議員研修会について

なんですが、今回特に議員研修会については、予算決算の委員会をうちの議会として検討してということから、月刊誌の中で地方議会人という本がありまして、その中にずっと連載をしてくださってる先生で同志社大学の新川先生という方がおられまして、議会と予算決算ということについてずっと連載をされておられまして、それをずっと見させていただいてる中で、できたらこういう先生をお招きできたらなというふうに考えております。

それで、いろいろ時期的なものがあるんですが、できたら8月の頭ぐらいにして、次に9月にいろんな決算のことがあったり、いろいろありますので、できるだけ早くちょっと勉強会をさせていただければなというふうに思っておりますので、御了解をいただければと思ってお話をさせていただきます。よろしくお願ひします。

○委員長（下山哲司君） 何か皆さん御意見ありますか。

○委員（北川勝義君） ちょっといいですか。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 賛成でやってもらやあええんじゃけど、わからんので、廣瀬先生もえかったのかな、明治大学。あそこらも来てもええんじゃけど、一遍に呼べということではできんので、それやっていただきゃあ、議長、副議長でよう相談してやってもらやあええと思うんじゃけど、するんじやったら9月がやっぱり議会になるけん、8月にはもうやっとかにやいけん、いけんわな、今思うて。

それ賛成なんですけど、ぜひできたら今回、一遍来てみて予算がかかることになるんかもしれんので、今度は議長さんをお願いしてというんが、議運の委員長からお願いしてというのは、できりやあ僕はこんなことは、議員の中で何やかんや、もうああじゃこうじゃというて、執行部悪いじゃ、議員が悪いじゃというて足の引っ張り合いばあせずに、とりあえずいろいろ、何やかんや問題になってあつたというのは、結果的には議員のなり手も少のうなつたりいろいろあると思うんで、この廣瀬さんの話じゃねえんじゃけど、ほかの人でもええんですけど、とりあえず一遍、もう一遍ぐらい研修で、赤磐だけがやるというのも一つの方法じゃけど、備前市議会とか和気町議会に議長同士でお話ししていただいて、できたらそういう先生を、別に赤磐じゃのうても和気でもええんで、どこでもええんですよ。呼んでもらうて、議員研修、一遍報酬を、議員のあり方や何やかんや、報酬をやるという、皆反対の方もおられようけど、報酬を上げ、そういうことの勉強を次にぜひしてもらいてえと思う。

このことについては大賛成ですけど、その次もやっていただきてえというのを、要望というたらおかしいけど、赤磐だけでやるというたらお金も要ることじゃけえ、皆一緒にやられりやあ、ちょっとやりやすいんじゃねえかな。それで、僕大変言い方悪いけど、もう足の引っ張り合い、そんなことよりは、もうぜひ給料を、給料というたら報酬を5万円でも、せめて最低5万円上げてしたら、僕は割に活動しやすくなるんじゃねえかなと思うんで、中にはいろいろ考えがあるんですけど、私の考えはそういう意味で、市長のほうのを一々待って、給料を報酬審

議会にかけてやりようのよりは、こっちの発議でやることも考えるべきじゃねえかなと今思うんで、そうせなんだら、もう今でやりよって、ええかげんになると思うんですよ、もう次の選挙にまたなったということになるんで、ぜひお願いしてえと思うんで、それ要望です。

○委員長（下山哲司君） よろしいか、要望で。

○委員（北川勝義君） はい、よろしいです。

○委員長（下山哲司君） 議長、要望でございますので。

○議長（金谷文則君） わかりました。

○副委員長（福木京子君） 委員長、いいですか。

○委員長（下山哲司君） 福木委員。

○副委員長（福木京子君） その内容、報酬についてというより、やっぱり議員の今なり手がいない。そういうのにどういうふうには議会が対応していったらええかというふうな、やっぱり大きな視点でいかないと、ただ報酬の……。そうせんと、それじゃあなかなか参画できにくいから……。そういうことでお願いしたい。

以上です。

○委員長（下山哲司君） 福木委員、今の御意見はもうごもっともで、直結するようなことはしないと思いますので。

けさのニュースにもありましたが、青森の何とか町で議員の自主解散の動議が出されたんですが、成立しませんでした。なぜかという理由に、解散しても次に新しい議員さんのなり手がいないというのが現状、現実があるからというような話もあったんで、やはりいろんな面でこれから考えていただかにゃいけないので、議長、そういうことで、今の御意見を皆さん……。

議長。

○議長（金谷文則君） 御意見もあわせて、まず今回の議員研修については新川先生で8月ごろという方向で進めさせていただきたいということが1つと、それから今お話しのありましたお二人の御意見も十分尊重して、できるだけ研修をやっていききたいというふうに考えていますので、よろしく願いいたします。

○委員長（下山哲司君） はい。

○委員（北川勝義君） ちょっとそれ、もう一遍。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） それに関して別にええんじゃけど、昔、町村職員のとときにはソフトがあつたり、それからやりよっていろいろあつたんじゃけど、ソフトをせえとか、そういう話しょんじゃねえんじゃけど、こういう研修会というのは、今言うた赤磐、備前、和気と一緒にやりゃあええ、東備管内でやりゃあええ、瀬戸内が入りゃあ入ってもええ、やりゃあええんじゃねえかというのを、やっぱり広域的なことになつとんで、議員の全部の研修はありますが、市議会とかというたらそれあるけど、今そういう研修も、ちいたあ議長、副議長のほうで音頭

をとるといふか、話を持っていきやあ、別にソフトボールしようでのうてもええ、何でもええ、話し合いで、議員、役割のあり方、何でもええですが。そういうことをちょっと1年に一遍ぐらい、持ち回りの市町村でやったら力強うなるというんかな、そう思ひまして。またそれも、きょうどうこうしてくれえじゃねえ、議長、副議長、よう相談するといふたらおかしいけど、またやっていただきてえなと思ひとりますので、お願ひします。

○委員長（下山哲司君） 意見といふことで。

○議長（金谷文則君） 了解いたしました。

○委員長（下山哲司君） 他にございせんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、以上をもちまして第9回議会運営委員会を閉会といたします。

お疲れさまでした。

午前11時10分 閉会